

先生の本棚

楠田 剛士 (助教)

大学1年生の夏。学部の先輩から誘われて、長崎市外海にできたばかりの遠藤周作文学館に行く機会があった。当時は遠藤周作についてほとんど知らず、代表作も何も知らなかった。事前にその作家の小説を読んでおこうと考え、ある日の夕暮れ、自転車で川沿いのM書店に向った。夏の文庫フェアに並んでいたという単純な理由で、新潮文庫の『海と毒薬』と『沈黙』を購入した。生体解剖事件とキリシタン棄教の問題を十分受け止められたかは心許ないが、とにかく読んでから文学館に行った。

この購入経験が、学生時代の書籍購入の方向性を決めたように思う。ひとつは安価でハンディな文庫を収集することだ。少ない小遣いだから文庫の古本が中心だったが、文庫は判型がそろっていて、出版社それぞれの装丁があるので、棚に並べて背表紙を見るのも楽しかった。もうひとつは日本文学がよく知られたものを読もうと心がけたことだ。近代文学を専攻するなら夏目漱石や芥川龍之介などは読んでおかないといけないと、やはり古本屋を巡りこつこつ集めて読んでいった。

そんな中、大江健三郎が小林秀雄の言葉を引きながら「作家、学者の仕事を読むならば、なによりその全集をすべて読め、という小林氏の勧告に新制高校一年の夏に出会い、それからこの言葉を疑ったことはない」(『最後の小説』所収)と書いているのを見つけた。卒論で大江の小説を取り上げようとしたとき、この言葉が意識された。大江の網羅的な全集は出ていないので、大学3年生の春休みは『大江健三郎小説』という10巻本をひたすら読んでいった。1年後に出来た卒論は、出来はとにかく、読んでから書いたことが大きな思い出になっている。



最近読んだお気に入りの一冊

『人間の条件』
ハンナ・アレント

YOMMU!

『野心のすすめ』

林 真理子/著

「野心」という言葉のイメージはどちらかと言えば「負」だと思いますが、この本を読了するころにはきっと変わっているでしょう。もしかすると野心に欠ける自分を嘆くかも知れません。今や超のつく有名人まで上り詰めた彼女が、人生のどん底から現在に至るまでの自身の姿を痛快に綴った1冊です。最終章では読書の意義についても触れられています。最後に、本書の中から一文を拝借。「人が電車の中で携帯メールを打っている姿と、文庫本を読んでいる姿では、圧倒的に後者のほうが素敵ではありませんか。」

【紹介者/鈴木 美南 (1年)】

『ええ、政治ですが、それが何か?』

岡田 憲治/著

「政治とは、この世の解釈をめぐる選択を、あくまで言葉を通じて不特定多数の他者に示すこと」私はこれほどにまで明快で正鵠を射た政治の定義を初めて見た。本書は「政治とは何か」について書かれている。難解な専門用語を用いることなく、身近な例を交えつつ平易な文章で語れる「政治」の世界に、思わず魅了される。ページをめくる手がとまらなくなる。そして、読みながら何時しか、政治について自分の頭で深く考えている自分に気づく。若者の政治的関心の希薄化が憂慮される、この現代。政治が自分とは無関係だと高を括る、そこの貴方。まずは、本書を手にとられよ。

【紹介者/遠山 大樹 (2年)】



私の図書館活用術

図書館に決まった使い方はありません。たまには探検してみよう。図書館には難しい本ばかりが置いてあるのではなく、漫画についての本やデザインの本など、意外と個性的な本もあります。こんな本が学校にあったのか!というような本を見つけたら、宝を見つけたような気分です。そして、私はよく個室研究室を利用しています。研究講義棟でも演習室を借りることはできますが、個室研究室の場合、一人で集中できることが大きな魅力です。個室研究室を使うには名簿に名前を書くだけ。職員の方に声をかけたり、面倒な手続きをする必要はありません。一人暮らしの学生で、自分の部屋に机と椅子がない!なんて学生にはさらに嬉しいですね。それに何より図書館は、夏は涼しく、冬は暖かい。いつも快適な環境が整っています。節電のため、そして心と体の充電のため、気晴らしにふらっと立ち寄ってみるのはいかがでしょうか。【紹介者/重野 かえで (3年)】

正直、本を読むことより、テレビを見ることが大好き。長く集中することもちょっと苦手です…。しかし、興味を持ったことに関してすぐに知識を増やしたくなります。テレビを見て気になったことがあれば図書館へ行き、それに関係する本を探すようにしています。昔と今の本を読み比べると、書かれてある事実が異なっていたり、変わっていたりするのが目に見えるのが本の面白いところです。私は、新たな発見をする、また知識を増やすために図書館を利用しています。テレビには、時間の限りがありますが、本には限りがありません。ぜひ時間いっぱい図書館を利用して知識を増やしてみてください。【紹介者/海老原 奈月 (4年)】

Camellia Vol.6

— 図書館広報紙 —

【CONTENTS】

学生選書ツアーのレポート	P. 1
レポートを書く前に読んでほしい8つのコト	P. 2 ~ 3
先生の本棚	P. 4
YOMMU! ~おすすめの1冊~	P. 4
私の図書館活用術	P. 4

2015年11月6日に開催した学生選書ツアー、次いで12月4日に実施した展示作業の様子をご紹介します!

学生選書ツアー(2015年度)を開催しました!

「学生選書ツアー」とは…?

学生が「学生の視点・ニーズ」をもとに、書店で現物を手に取りながら、学習・研究に必要な本、図書館で不足していると思う本、他の学生にも読んでほしい本等を選書することにより、学生にとって魅力的な蔵書を構築し、図書館や読書への関心を深め、更には図書館利用を促進することを目的として実施している企画です。

選書ツアーの様子

参加してくれた学生は9名。薦屋書店宮崎高千穂通り店様ご協力のもと、選書ツアーをSTART!

カゴを片手に、1冊1冊手に取って、吟味していきます…。

選書方法は学生によって様々なようで、予算内で選書する本を予め決めていた学生や、タイトルから内容を考え、推測し中身を確認して選書していく学生も。



展示作業の様子

ツアーを経て、選書されたのは合計143冊の本たち。

この中から、より多くの学生に興味関心を持ってもらえるよう、特におすすめしたい本の紹介文とPOPを作成してもらい、選書本と一緒に展示を行いました。



2016年度も開催予定ですので、興味を持たれた方はぜひご参加ください!

宮崎公立大学附属図書館

レポートを書く前に読んでほしい8つのコト

STEP2 事前調査

何を調査すべきなのかわからない…そんな時はレファレンスサービスを活用しましょう！レファレンスサービスとは、皆さんの質問に応じて、その回答や資料を指示・提供するサービスのことで、レポート作成に関する相談の受付や、調査・研究に必要な資料の紹介も行っていますので、お気軽に図書館職員までお尋ねください。

◆レポート・論文を書く際に参考になる文献例（本学図書館所蔵）

『新版 大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康／著
『コピペと言われないレポートの書き方教室』山口裕之／著
『思考を鍛えるレポート・論文作成法 第2版』井下千以子／著
『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法 改訂第二版』松本茂・河野哲也／著

他にも
あります！



STEP4 必要な資料の調査

各種データベースや検索サイトを利用して、必要な資料を調べます。

◆主なオンラインデータベース

CiNii Articles（論文情報検索DB）

学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなどの学術論文情報を検索するデータベース・サービス

Webcat Plus（連想検索書誌DB）

江戸期前から現代までに出版された書物を対象に、関連情報を求める連想検索が可能な情報サービス

◆文献リストを作成しましょう！

学術論文で引用されている資料や参考文献、関連キーワードでピックアップした本の情報などを以下のような「文献リスト」にまとめておくと、資料を入手する際や、レポート・論文に出典を明記する際に活用できます。

- ・図書の場合：書名、著者名、出版社、出版年
- ・論文の場合：執筆者名、論文名、掲載誌（書）名、巻号、出版年、掲載ページ



【レポート・論文作成の流れ】

STEP1

テーマの決定

与えられた課題に基づき、テーマを決定する。

STEP3

仮構成の作成

仮の構成を作成し、洗い出した情報を整理する。

STEP2

事前調査

何を調査すべきなのか、必要な情報は何かを洗い出す。

STEP4

必要な資料の調査

STEP5

資料の入手

STEP6

資料の読解

入手した資料を読み、必要な情報を整理する。

STEP7

最終構成の作成

整理した情報に、自分の考察を加えながら最終構成を作成する。

STEP8

執筆・仕上げ

最終構成に沿って、レポート・論文を作成する。

STEP5 資料の入手

STEP4で調べた、必要な資料を入手するための検索を行います。

- ・本学図書館の資料を探す⇒OPAC（宮崎公立大学附属図書館蔵書検索）
- ・他大学の資料を探す⇒CiNii Books（全国大学図書館蔵書検索）
- ・学術論文を探す⇒CiNii Articles（論文情報検索DB）
- その他、雑誌や新聞記事を探せるデータベースもあります！



必要な資料が
本学図書館に
なかった…

◆ILL サービス（図書館間の相互利用サービス）を利用しましょう！

ILL 文献複写依頼サービス

学内に所蔵していない資料の必要箇所の複写物（コピー）を、他大学図書館等から取り寄せるサービス

ILL 現物貸借依頼サービス

学内に所蔵していない資料そのものを、他大学図書館等から借り受けるサービス

本学図書館のホームページもしくはOPACにアクセス及びログインし、必要事項を入力することで利用することができます。

また、一部無料化を実施しています。詳しくは本学図書館ホームページ内の「WEB サービスの利用上の注意事項」の「学生向け」をご覧ください。

